

## 秋 ソフトボール大会シーズンが到来！ 空に威勢のいいかけ声がこだまする

11月3日、田島地域の地区対抗「少年少女球技大会ソフトボール競技」が開催され、小学生の男女で構成された7チームによる熱戦が繰り広げられました。

優勝：永田・新町・西町チーム(田島小学校)

準優勝：桜沢地区チーム(桜沢小学校)

11月6日には「たじま絆カップ争奪ソフトボール大会」が2年ぶりに開催されました。田島スポーツ少年団の保護者の皆さんが準備を進めた本大会には、町内外から12チームが参加。色とりどりのユニフォームが躍動しました。

絆ブロック優勝：田島スポーツ少年団

夢ブロック優勝：中山スポーツ少年団(いわき市)



少年少女球技大会



たじま絆カップ



少年少女球技大会ソフトボール競技を制した  
永田・新町・西町チーム



たじま絆カップ争奪ソフトボール大会(絆ブロック)を制した  
田島スポーツ少年団



目録と感謝状を取り交わす大宅町長(左)と竜江取締役(右)

## 地 企業版ふるさと納税感謝状贈呈式 地域の活力を向上させるために

11月10日、東京都墨田区に本社を置き、旅行業を中心とした事業を展開する東武トップツアーズ株式会社(百木田康二代表取締役)から、企業版ふるさと納税として、町に500万円が寄附されました。同社と本町は、平成29年4月に特急リパティ会津が会津田島駅に直通乗り入れを開始して以降、誘客・送客事業や地域振興事業など、多くの面で連携を深めてきました。

式に出席された竜江義玄取締役は、寄附金の使い道について「新しいひとの流れをつくる事業にお役立ていただきたい」と話されました。町を訪れる人(交流人口)のみならず、町に関わる人(関係人口)の増加につながる取り組みに活用させていただきます。



東武トップツアーズ(株)



贈呈式の様子

## 敗 南会津町チャレンジデー 2021 れはしても、充実した1日に

チャレンジデーは、スポーツの習慣化や住民の健康増進、地域の活性化などを目的とした、住民総参加型のスポーツイベント。15分以上継続して、運動やスポーツに取り組んだ住民の参加率を競います。

10月27日に開催された「チャレンジデー 2021」では、北海道東神楽町、山形県中山町と対戦。5回目の参加となる今回は、町民の皆さん3,510人にご協力いただきました。対戦結果は、下記のとおり。初勝利とはなりませんでした。大きな盛り上がりを見せた南会津町。

チャレンジデーをきっかけに、運動やスポーツが習慣化され、町民の皆さんの健康や体力づくりにつながることを期待しています。



### チャレンジデー結果報告



#### 福島県南会津町

人口	14,948人
参加者	3,510人
参加率	23.5%
参加回数	5回目



#### 山形県中山町

人口	11,017人
参加者	4,109人
参加率	37.3%
参加回数	5回目



#### 北海道東神楽町

人口	10,154人
参加者	6,027人
参加率	59.4%
参加回数	10回目

丸写真は、10月26日に企画された3首長によるエール交換の様子



## 収穫 公民館講座「親子で挑戦」 穫の喜びを肌で知る

10月24日、第6回となる標記講座が開催されました。今回は、あたご共同作業所が管理する畑を訪れ、秋の味覚サツマイモの収穫に親子そろって挑戦。

晴天に恵まれ、温かい日差しが降り注ぐ畑に、子どもたちの元気な声が響き渡ります。収穫したサツマイモを袋いっぱい抱え、親子一緒に楽しく充実した時間を過ごすことができました。



大きなサツマイモを手に上機嫌



左から佐藤さん、手塚営業所長、大宅町長、猪股さん、松田次長（郡山支社）

## 愛 「私の地元応援募金」贈呈式 する地元への思いを結集

10月27日、明治安田生命保険相互会社田島営業所（手塚康祐営業所長）の皆さんから「私の地元応援募金」として、町に40万7千円が寄附されました。

この募金は、同社従業員が居住地や出身地に対して行った募金に対し、同社の善意を加えたものです。心温まる寄附は、今年3月に続いて3回目。新型コロナウイルス感染症対策などに活用させていただきます。

## 魔法の言葉で大人を操る♪

10月29日、町職員が魔法にかけられる事案が発生しました。仮装に身を包んだ暁の星幼稚園の園児たちが、元気に「トリック・オア・トリート」と発すると、なぜかたくさんのお菓子を差し出してしまう職員たち。

園児たちの手には、あふれるほどのお菓子が集まります。かわいい笑顔の陰で、とてつもない魔法を駆使しているに違いありません。ただ一言、降参です！



かわいい笑顔で、お菓子を要求！

## 未来に向けた集落づくり

10月30日から2日間、さすけねえぶる南会津水引の里（五十嵐恵子会長）とNPO法人いろいろが共催したワークショップには、県外の方を中心に30人が参加。

慣れない鎌に苦労しながらも、丁寧に茅を刈り取っていく参加者たち。水引集落の皆さんは、料理などのおもてなしを通じて、作業をバックアップ。刈り取られた茅は、集落内の茅屋根の補修に使用されます。



山間の地から「関わり」が生まれる（芳賀新さん写真提供）

## 全 第33回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 身全霊を注いだ16区間

11月21日に開催された、ふくしま駅伝。白河市総合運動公園陸上競技場から福島県庁までを結ぶ全16区間（総距離95km）、懸命にタスキをつないだ選手たち。公式タイムは5時間50分56秒を記録し、参加50チーム中、36位（町の部18位）の結果を残しました。

コロナ禍で選手選考や練習時間の確保に苦慮しながらも、チームワークを高め、完走を遂げることができました。チームへのサポートや応援をいただいた皆さん、ありがとうございました。



区間	氏名	所属
1	平野 花	会津高1年
2	渡部 智哉	田村高2年
3	鈴木優太郎	田島中3年
4	芳賀 裕希	グループホーム郷の家
5	星 力仁	田島中教員
6	星 孝明	自衛隊郡山
7	広野 優太	荒海中3年
8	鈴木 奏汰	田島中2年
9	星 彩那	田島中3年
10	阿部 博史	南会津建設事務所
11	町島結実璃	田島中1年
12	五十嵐丈裕	南会津高2年
13	馬場 亮太	会北中教員
14	福田 海斗	田島高1年
15	岩月 菜那	田島中3年
16	土橋 一馬	南会津町役場
補欠	湯田 和樹	住田光学ガラス
	オースティン・スコット	会津グローバルネットワークス
	佐藤 丞	会津学鳳高1年
	君島 心希	荒海中3年
	渡部 葵	田島中2年
	渡部 璃央	田島中1年
監督	佐藤 駿成	田島中1年
監督	廣野友一郎	南会津町教育委員会

## 機 鉄道ネットワークを生かした観光活性化事業 関車とレトロ電車の競演

11月23日、会津田島駅を会場に、鉄道事業者や観光事業者を主体とする、地域連携イベントが開催されました。日光・鬼怒川エリアで活躍する「SL大樹」の展示や、レトロ電車を活用した団体ツアー、郷土料理・芸能によるおもてなしなどが企画され、活気に包まれる会津田島駅。迫力ある機関車を前に、子どもたちの視線はくぎ付け。キラキラと、輝く瞳が印象的でした。



展示された「SL大樹（C11 325号機）」  
漆黒のボディと、際立つ存在感



SL大樹をけん引した  
ディーゼル機関車（DE10 1099）



団体ツアー専用車両として  
急行南会津（350系）が復活



## おいしい給食の陰に努力あり

令和3年度学校給食優良団体・功労者表彰  
南会津町教育委員会が、標記表彰で福島県教育長賞(県産食材活用部門)を受賞したことに伴い、11月2日に受賞報告の場が設けられました。

今回の受賞は、学校給食に地場産食材を積極的に活用し、地元生産者と交流を深める取り組みが高く評価されたものです。栄養教諭や調理員の方など、学校給食に携わる皆様のご尽力に対し、心から敬意を表します。



左から小川栄養技師(荒海中)、横田栄養教諭(伊南小) 飯塚栄養教諭(田島小)、星教育長



左から田島赤十字奉仕団阿久津委員長、柏木さん、野中さん、室井さん、大宅町長

## 長年にわたる奉仕活動が実る

このたび、日本赤十字社奉仕団員等奉仕者功労表彰において、20年以上の活動をたたえる「金色有功章」を1人、15年以上の活動をたたえる「銀色有功章」を2人が受章。11月12日に伝達されました。

金色有功章：野中美恵子さん(大豆渡)  
銀色有功章：柏木なつ子さん(大町) 室井栄子さん(中町)

## 身に付けたステップに心が躍る

11月14日に開催された、第2回標記講座のテーマはダンス。ダンススタジオNEXT(下郷町)の渡部光さんを講師に迎え、誰もが知る名曲「Choo Choo TRAIN」のリズムに乗せたダンスに挑戦しました。

激しいリズムの連続に、初めは戸惑う様子もありましたが、いつしか華麗なステップを踏む自分に気付く参加者たち。また一步、男に磨きがかかったようです。



ダンスを終え、表情にも自信があふれていました

## 万が一への備えを万全に

11月15日、会津鉄道株式会社(鈴木重敏代表取締役社長)の主催による標記訓練会が開催されました。当日は、約50人が訓練に参加。乗用車が踏切内で立ち往生した場合を想定し、緊急時の対処法を実践しました。

たとえ遮断棒が降りていたとしても、乗用車を前進させれば踏切から容易に脱出することができ、焦らず落ち着いて対処する大切さを学ぶことができました。



遮断棒は人力でも簡単に持ち上げることが可能

## 明るく、楽しく、激しく!

10月31日、びわのかげ運動公園多目的競技場で開催された標記大会には、田島地域の小学校に通う女子児童で構成された5チームが参加。男子児童にも引けを取らないパワフルなプレーが続きましたが、試合が終わればノーサイド。学校を越えた友情を育んだようです。

優勝：りんどうクィーンズ(田島第二小学校)  
準優勝：田島レインボー(田島小学校)



優勝した「りんどうクィーンズ」の皆さん



町から寄贈したオオヤマザクラの苗木を記念植樹(両市町から首長、教育長、議会議長が参加)

## さいたま市との「絆」は続く

11月3日、さいたま市立館岩少年自然の家で標記式典が開催されました。昭和56年の開所以来、豊かな自然を生かした体験活動を通じ、さいたま市の延べ170万人を超える子どもたちの成長と交流を見守ってきた当施設。式典には、さいたま市の清水勇人市長と細田真由美教育長が出席。さいたま市と南会津町の絆を深め、かけがえのない「学びの場」が維持されることを期待します。

## 町の将来を担う人材を支援

11月8日、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催を控えていた、若者定住応援プログラム交付金の交付式を再開しました。

町では、若者の定住を促進することを目的に、町内事業所などに正社員として就職した新規学卒者や、U・Iターン者の皆さんの生活を、交付金を通じて支援していますので、ぜひご活用ください。



再開した交付式の様子

## 「ありのまま」受け入れることを実践 感ずる大切さを学ぶ

11月10日、対人関係の相互理解を支援する「絆づくりの会(木村真由美代表)」の定例会が開催されました。カードゲームを用いて、心を通わせる話し方や聴き方を学んだほか、雑誌やチラシを切り出して自分を表現する「コラージュ」に挑戦した参加者の皆さん。コミュニケーションの輪へ足を運んでみませんか。



「コラージュ」の手法を用いて自分を表現する皆さん

【問合せ】 絆づくりの会 電話 080-1813-2044